

2014年(平成26年)

8月17日(日)

発行所 琉球新報社

郵便番号 〒900-8525

那覇市天久905番地

©琉球新報社2014年

速報

琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

迫力演舞に熱気

全島エイサー最高潮



メリハリのある演舞を披露した沖縄市室川青年会。17日、沖縄市コザ運動公園陸上競技場

【沖縄】沖縄の夏の風物詩・第59回「沖縄全島エイサーまつり」(主催・同実行委員会)沖縄市、琉球新報社、沖縄テレビ放送、市観光協会、市青年団協議会)は17日に最終日を迎え、沖縄市内外から集結した計15団体が多彩な演舞を繰り広げた。迫力ある大太鼓やパーランクー、勇壮な男踊りなどを披露し、観客を沸かせた。会場となった沖縄市コザ運動公園陸上競技場には、県内外から訪れた多くの家族連れや観光客がエイサーの魅力堪能し、会場は大きな拍手と声援に包まれた。

最終日の本祭は沖縄市立高袋小学校の元気ある演舞で幕開け。沖縄市内からは室川、胡屋、南桃原、越来、山里青年会、嘉手納町からは千原エイサー保存会、中央区青年会、金武町からは金武区青年会、うるま市からは平敷屋青年会(東)が出演。そのほか、沖縄市婦人連合会や琉球國祭り太鼓などの団体も出演し、各地域の伝統を受け継いだ踊りや、県内各地の特徴を生かしたエイサーが次々と披露された。

静岡県から訪れたという小林重紀さん(28)は「全島を見るのは2度目。映像で見ただけではあったが、やっぱり実際に目の前で見ると迫力が全然違う。自分でもエイサーをやりたい」と話した。出演している娘を見に来たという砂川ツルさん(82)「北谷町」は「何度も見に来ているけど、上手な踊りに見とれて、感心しているさあ」と笑顔で話した。

読谷村高志保青年会の締め太鼓を高く上げて蹴り上げる動きに大きな拍手が湧いた



太鼓の響き 会場包む



パラクーを手にしなやかに舞を表現する沖縄市婦人連合会のメンバーたち



勇壮な男踊りを披露する嘉手納町千原エイサー保存会



なめらかな手踊りを披露する沖縄市立島袋小学校